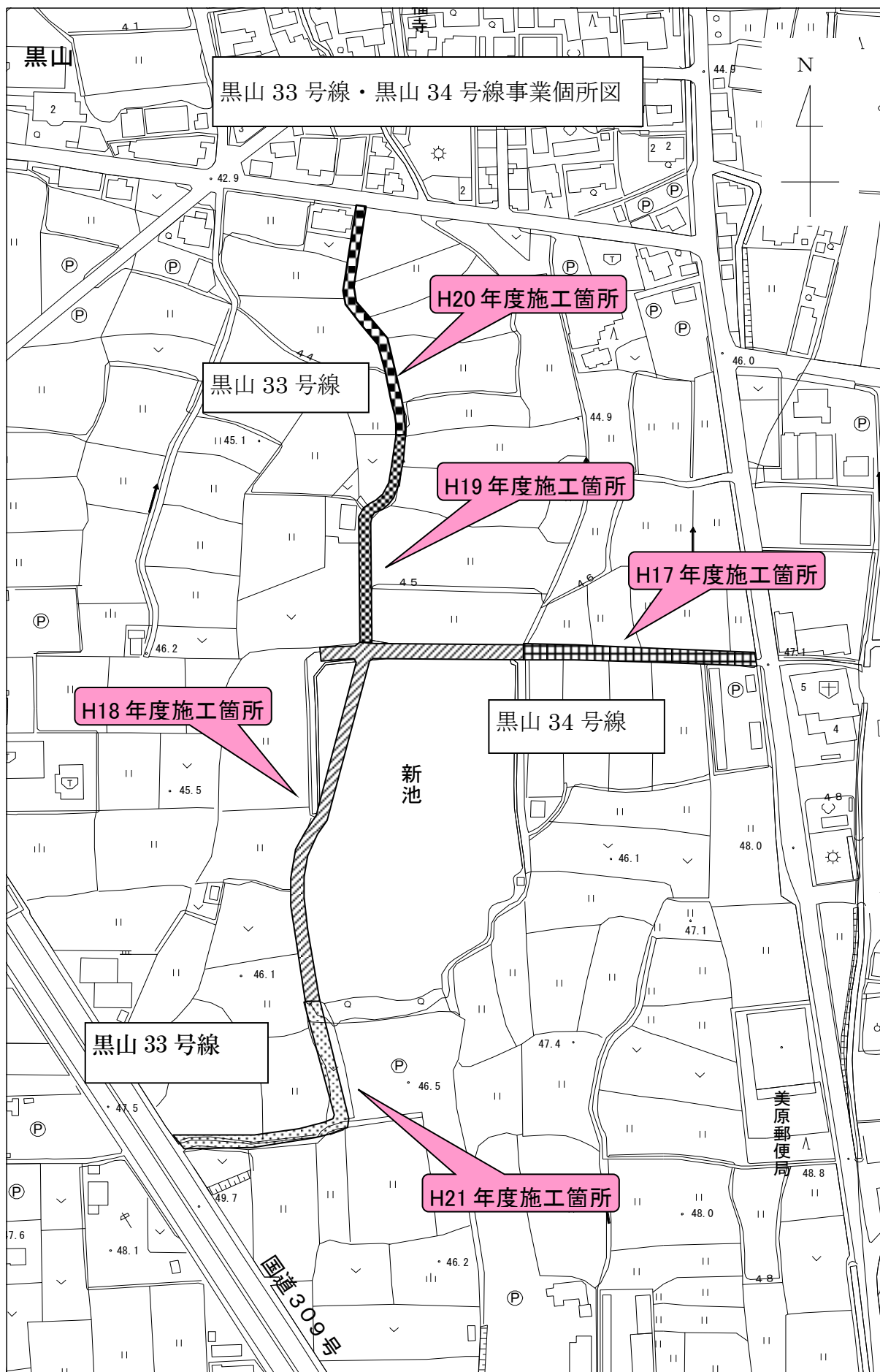


堺市・美原町合併新市建設計画<美原区域分>
説明資料

目次

計画期間	事業名	ページ
前期中（平成 20 年度まで）の事業完了をめざすもの	[新拠点中心核整備事業]基盤道路	1
	小学校給食調理場整備事業	3
	黒山小学校屋内運動場改築事業	4
	総合体育館(美原体育館)改修事業（多治井）	5
	総合スポーツセンター整備事業（小平尾）	6
	美原総合福祉会館改修事業	7
中期中（平成 23 年度まで）の事業完了をめざすもの	小中学校一貫校化事業（さつき野）	8
	美原中学校校舎改築事業	9
	美原西小学校大規模改造事業	10
	きた保育所建替事業	11
	舟渡池公園活性化事業（平尾西街区公園整備）	12
	街区公園整備事業（南余部西）	13
	[新拠点中心核整備事業]シンボルロード、プロムナード整備	14
	[新拠点中心核整備事業] 複合シビック・バスターミナルなど・駐車場	16
後期中（平成 26 年度まで）の事業完了をめざすもの	美原西中学校屋内運動場改築事業	17
	（仮称）美原南運動場整備事業	18
	[歴史ゾーン整備事業]交流拠点施設整備事業	19
	町道菩提 1 号線（石原 14 号線延伸部道路改良事業）	20
	街区公園整備事業（平尾南）	22
	（仮称）総合防災センター整備事業	23
計画期間全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの	[歴史ゾーン整備事業]西藤井寺線(バイパス事業) 【都市計画道路向陵多治井線】	24
	美原町地域生活道路・歩道整備事業	26
	下水道整備事業	31
	老朽水道管更新事業	32
	堺美原間配水小管連絡事業	33
その他事業	美原町地域 路線バスルートの新設・拡充事業	35
	総合的な公共交通体系の検討（鉄軌道整備調査研究）	37

前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	北部地域整備事務所
事業名	[新拠点中心核整備事業] (基盤道路)	事業費	394,930 千円
事業目的	美原新拠点中心核整備に必要不可欠な基幹道路の整備として、黒山 3 3 号線及び黒山 3 4 号線の築造整備を行う。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 1 7 年度から平成 2 1 年度の 5 か年計画で道路整備を行い、平成 2 1 年度末には供用している。		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	基幹道路として、黒山 3 3 号線及び黒山 3 4 号線を整備したことにより、美原新拠点内における有効な土地利用が図れる。		
添付資料	有 ・ 無		



前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 保健給食課
事業名	小学校給食調理場整備事業	事業費	1,055,829 千円
事業目的	美原区域の各小学校（6 校）の敷地内に単独校調理場方式の学校給食調理場を建築する。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 18 年度に 4 校（平尾、美原北、美原西、さつき野）が完成し、平成 19 年度に 2 校（黒山、八上）が完成した。		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	・ 配送する必要がなくその配送時間を調理時間に使うことができるため、多様なメニューでより温かい学校給食を提供することができる。 ・ 敷地内に単独校調理場があるため、給食調理の見える化を図り、食育にも活用することができる。		
添付資料	有 ・ 無		

前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 施設課
事業名	黒山小学校屋内運動場改築事業	事業費	345,705 千円
事業目的	屋内運動場は文部科学省が定める必要面積を満たしておらず、また老朽化による機能低下の改善や耐震化を図るためにも改築を行う。また、改築の際には地域住民の活動に寄与するため、ミーティングルームを併設する。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 18 年度 耐力度調査業務の実施 平成 20 年度 屋内運動場実施設計業務完了 既設屋内運動場の撤去工事完了 平成 21 年度 屋内運動場改築工事完了		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	屋内運動場の改築等を行うことにより、施設の老朽化による機能低下が改善され教育環境が向上した。 ミーティングルームなどの施設整備により、多様な活動が可能になった。 児童がより安全な環境で、体育などの校内活動等に励めるようになった。 耐震性能の向上により、災害時の地域住民の避難場所としての安全性が高まった。		
添付資料	有 ・ 無		

前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	スポーツ施設課
事業名	総合体育館(美原体育館)改修事業(多治井)	事業費	596,038 千円
事業目的	美原体育館は、昭和 54 年に建設され、築後 30 年近く経過していることから、市民の皆様が使いやすい施設に改修するとともに、被災時の避難所として機能するよう本施設の改善を図る。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 18 年度 耐震診断、改修内容の検討 平成 19 年度 実施設計 平成 20 年度 改修工事(平成 21 年 5 月末完了) 平成 21 年度 5 月末 工事完成 6 月 1 日リニューアルオープン		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	子どもから高齢の方までのさまざまな人々が利用できる施設として、健康の維持・増進、体力づくり及びコミュニケーションを図れる環境を整備することができた。 ○年間利用者数 平成 19 年度(改修前) → 平成 25 年度 60,951 人 117,392 人		
添付資料	有 ・ 無		

前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	スポーツ施設課
事業名	総合スポーツセンター整備事業(小平尾)	事業費	2,671,834 千円
事業目的	美原区におけるスポーツ・文化のより一層の振興を図ることにより、新市全体の均衡ある発展をめざすとともに、市民生活の向上を目的として生涯スポーツの場を整備する。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 18 年度 基本設計(公募型プロポーザル方式) 土木設計、工事(擁壁外工事・調整池護岸整備工事) 平成 19 年度 実施設計 平成 20 年度 建築工事着手 平成 21 年度 9 月末 工事完成 10 月 5 日(プール棟は 10 日)オープン		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	子どもから高齢の方までのさまざまな人々が利用できる施設として、健康の維持・増進、体力づくり及びコミュニケーションを図れる環境を整備することができた。 ○年間利用者数の推移 平成 21 年度 93,424 人 平成 22 年度 212,602 人 平成 23 年度 231,526 人 平成 24 年度 237,859 人 平成 25 年度 254,929 人		
添付資料	有 ・ 無		

前期中(平成 20 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	高齢施策推進課
事業名	美原総合福祉会館改修事業	事業費	122,371 千円
事業目的	美原区域の福祉の拠点である美原総合福祉会館の老朽化等に伴う改修工事を行うことにより、施設の安全性を確保するもの。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成 21 年 3 月 改修工事完了 [改修内容] ・浴室、トイレ改修 ・管理カウンター設置 ・堺市市章新設 ・駐車スペース新設及び外構改修 ・外壁改修 ・下水道敷設に伴う浄化槽撤去 ・館内土足化		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	施設の安全性が確保され、利用者が安心して施設利用できる環境を整備することができた。 ○年間利用者数(2階老人福祉センター含む) 平成 19 年度 → 平成 25 年度 50,807 人 52,425 人		
添付資料	有 ・ 無		

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 施設課 教育委員会 学校企画課
事業名	さつき野小中学校一貫校化事業	事業費	543,646 千円
		H26 予算	52,000 千円
事業目的		構造改革特別区域認定により 9 年制カリキュラムを編成するなど、さつき野地区において小中一貫教育及びそれに必要な施設改修を実施する。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成 2 0 年度 小中学校連絡橋整備基本計画業務完了 平成 2 1 年度 小中学校一貫校化事業にかかる連絡橋等の実施設計業務完了 小中 P T A 活動一本化・第 1 回小中合同体育大会 平成 2 2 年度 小中学校連絡橋新築工事完了 小学校・中学校校舎内部改修工事設計業務完了 小学校・中学校校舎便所改修外工事完了 小中一貫カリキュラムの作成開始 平成 2 3 年度 小学校校舎内部改修工事完了 小学校外壁改修工事設計業務完了 小中一貫教育推進リーダーの配置 小学校 5・6 年での段階的な教科担任制の導入 学園章、制服及びゆるキャラ「さっちゃん」の制定 平成 2 4 年度 中学校校舎内部改修工事完了 小学校外壁・屋上防水改修外工事（1 期）完了 施設一体型さつき野学園開校 平成 2 5 年度 小学校外壁・屋上防水改修外工事（2 期）完了	
今後の計画		平成 2 6 年度 小学校外壁改修外工事（3 期）	
事業効果		・連絡橋の設置や内部改修を行うことにより、小中学校の一貫化に必要な施設改修の確保や教育活動に合わせた児童生徒の移動手段の効率化・安全性の確保等が図れた。 ・また、外壁改修を行うことにより、施設の老朽化による機能低下が改善され教育環境が向上した。 ・9 年間見通した教育活動に取り組める。 ・小学校 5 年以上の児童が中学校の部活動に参加できるようになり活動が活性化された。 ・小中学生の交流が行いやすいため、中学生には自信と年下をいたわる優しさを育むことで自尊感情が高められ、小学生には、近い将来のモデルが身近にいることから、学習等への意欲と希望を育んでいる。	
添付資料		有 ・ 無	

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 施設課
事業名	美原中学校校舎改築事業	事業費	1, 105, 387 千円
		H26 予算	336, 772 千円
事業目的		校舎の老朽化による機能低下の改善や耐震化を図るため校舎の改築を行う。 プール施設が校内に無いため新設する。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成 2 0 年度 平成 2 1 年度 平成 2 2 年度 平成 2 3 年度 平成 2 4 年度 平成 2 5 年度 平成 2 5 年度 1 2 月	校舎改築外工事の設計完了 (第 1 期分) 校舎撤去外工事の設計完了 (第 2 期分) 北校舎改築外工事の設計完了 (第 3 期分) 校舎改築外工事の完了 (第 1 期分) 北校舎解体外工事の設計完了 (第 4 期分) 校舎解体工事の完了 (第 2 期分) 北校舎改築外工事の完了 (第 3 期分) プール改築外工事の設計完了 (第 5 期分) 北校舎解体外工事完了 (第 4 期分) 校舎改修、プール新築工事着手 (第 5 期分)
今後の計画		平成 2 6 年度 1 1 月 平成 2 6 年度	校舎改修、プール新築工事完了 (第 5 期分) グラウンド整備外工事 (第 6 期分)
事業効果		校舎の改築等を行うことにより、施設の老朽化による機能低下が改善され教育環境が向上した。 耐震工事を併せて行なうことにより、施設の安全性が高まった。	
添付資料		有 ・ 無	

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 施設課
事業名	美原西小学校屋内運動場・校舎大規模改造事業	事業費	670,486 千円
		H26 予算	6,400 千円
事業目的		校舎・体育館の老朽化による機能低下の改善や耐震化を図るため校舎・体育館の大規模改造等を行う。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成 20 年度 平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 平成 25 年度	体育館大規模改造工事の設計完了 体育館大規模改造工事の完了 校舎大規模改造工事の設計業務完了 校舎・プール大規模改造工事(第 1 期)の完了 校舎大規模改造工事(第 2 期)の完了 (校舎改修、耐震補強、EV 設置) 校舎大規模改造工事(第 3 期)の完了 (普通教室、特別教室、外壁改修等) 校舎大規模改造工事(第 4 期分) (更衣室、シャワー室、多目的室改修等)
今後の計画		平成 26 年度	正門改修外工事
事業効果		大規模改造等を行うことにより、施設の老朽化による機能低下が改善され教育環境が向上した。 耐震工事を併せて行うことにより、校舎の安全性が高まった。 児童がより安全な環境で、体育などの校内活動等に励めるようになった。 耐震性能の向上により、災害時の地域住民の避難場所としての安全性が高まった。	
添付資料		有 ・ 無	

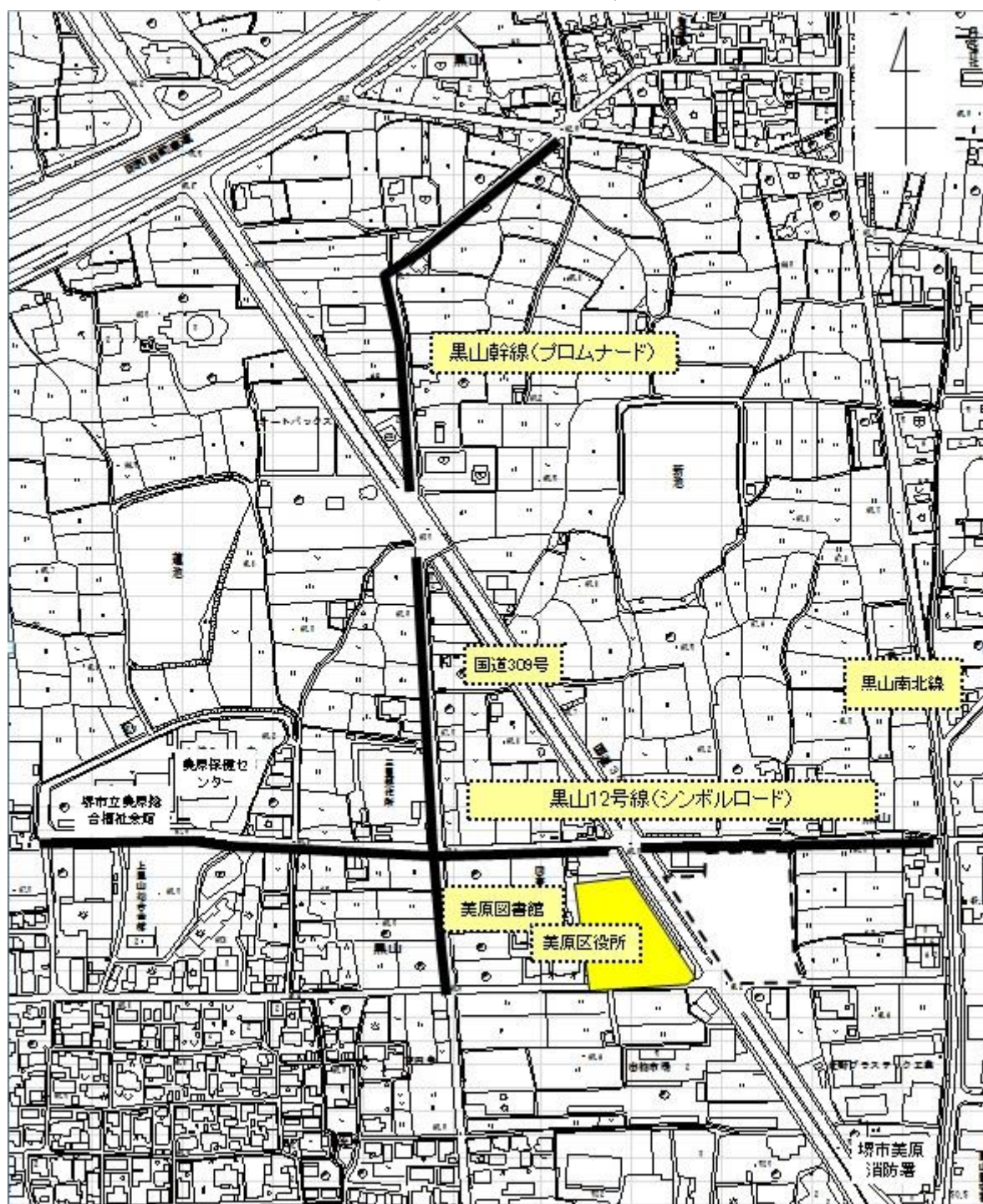
中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	保育推進課
事業名	きた保育所建替事業	事業費	1,412 千円
		H26 予算	89,218 千円
事業目的		昭和 53 年竣工（築 34 年経過）の老朽化した建物を、今後の美原地域における保育需要や地域の子育て支援拠点としての多様な保育サービスを提供できる施設機能を備えた保育施設に建替える。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		美原区域における保育需要の予測を踏まえながら、利便性・形状・適した広さ等、建替えに必要な諸条件を満たす事業候補地を選定し、建替え用地の確保に向けての手続きを進めている。	
今後の計画		建替え用地の確保に向けての手続きを進めるとともに、関係機関等と協議を行い、新しい保育所の規模や施設機能、建設手法等を検討。 平成 26 年度 用地取得 平成 27 年度以降 保育所建替事業の着手	
事業効果		建替えにより保育環境及び送迎時の交通アクセスが向上し、入所児童の日常生活の場及び地域の子育て拠点である保育所の安全・安心が確保される。	
添付資料		有 ・ 無	

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	公園緑地整備課
事業名	舟渡池公園活性化事業(平尾西街区公園整備)	事業費	265,972 千円
事業目的	水と緑を活かした潤いのある空間を創出するため、美原地域のシンボリック公園である舟渡池公園の活性化を図る。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	バーベキュー広場の拡張、野鳥観察施設、栈橋、トイレの整備、旧施設のリニューアルを実施。		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	舟渡池公園に併設して整備されている本街区公園のバーベキュー広場の拡張や施設整備を行うとともに、舟渡池公園の噴水や野鳥観察施設の整備など、総合的な施設整備の充実を図ることにより、美原区を象徴する都市空間を創造した。		
添付資料	有 ・ 無		

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	公園緑地整備課
事業名	街区公園整備事業（南余部西）	事業費	328,850 千円
事業目的	南余部西部地域は、住宅開発が進んでおり緑地スペースが極めて希薄であるため、地域住民のふれあいの場としての街区公園を整備する。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	園路広場、修景施設、休養施設、管理施設の整備。		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	本街区公園を整備することにより、南余部地区における公園配置の均衡を図り、良好な都市環境の創造と地域コミュニティを形成した。		
添付資料	有 ・ 無		

中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	道路整備課
事業名	[新拠点中心核整備事業] シンボルロード・プロムナード整備事業	事業費	114,624 千円
		H26 予算	70,750 千円
事業目的	・シンボルロード（黒山 12 号線） 美原都市拠点における象徴的かつ安全快適な歩行者空間の整備。 ・プロムナード（黒山幹線） 周辺環境との調和のとれた歩道整備等。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	・シンボルロード（黒山 12 号線） H17 年度～H18 年度 一部区役所北側駐車場側の歩道整備 H19 年度 美原図書館駐車場北側の整備 H20 年度 区役所北側において一部用地買収 H24 年度 区役所北側において一部道路整備 ・プロムナード（黒山幹線） H17 年度 北余部黒山 1 号線との交差点付近の歩道整備 H18 年度 美原図書館駐車場西側において歩道整備 H20～21 年度 国道 309 号との交差点北側部分での交差点拡幅改良事業 用地確保に向け、2 筆 112 m²を用地買収		
今後の計画	当面の間、シンボルロード（黒山 12 号線）においては、美原区役所別館北側、国道 309 号と黒山南北線との区間の拡幅整備を順次進めるため、関係地権者の協力を得ながら用地測量等を実施し、用地確保及び整備工事を図る。 また、プロムナード（黒山幹線）においても、用地確保のため地権者及び美原新拠点黒山まちづくり協議会との調整等を図るとともに、区画整理事業に伴い都市整備推進課との協議等を行っていく。		
事業効果	美原都市拠点における安全で快適な歩行空間のシンボルロード（黒山 12 号線）や、周辺環境との調和のとれた歩道整備のプロムナード（黒山幹線）によって、市民にとって、より安全な歩行空間を確保できるもの。		
添付資料	有 ・ 無		

シンボルロード・プロムナード



中期中(平成 23 年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	都市整備推進課
事業名	(新拠点中心核整備事業)複合シビック施設	事業費	7,320,828 千円
	(新拠点中心核整備事業)バスターミナルなど (新拠点中心核整備事業)駐車場	H26 予算	0 円
事業目的		合併した両地域（旧堺市・旧美原町）の早急な一体化と均衡ある発展に資するため、また区内外の交流促進によるにぎわい創出や、区役所庁舎を防災拠点とした地域の防災体制の強化、公共交通網の充実を図るため、美原都市拠点の中核的な施設として区役所庁舎、文化会館（多目的ホール、生涯学習施設）からなる複合シビック施設、市民駐車場及びバスターミナル等の整備を行う。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		・美原複合シビック施設（区役所、文化会館） 平成 21 年 8 月 31 日工事完成、11 月供用開始 ・国道 309 号歩道拡幅及び電線共同溝設置 平成 21 年 8 月 31 日工事完成 ・美原中央公民館解体工事 平成 22 年 9 月 24 日工事完了 ・美原区役所別館改修工事 平成 23 年 2 月 24 日工事完成 ・旧美原区役所本館解体工事 平成 23 年 9 月 16 日工事完了 ・市民駐車場外新築工事 平成 23 年 10 月 31 日工事完成、11 月供用開始 ・バスターミナル整備工事 平成 24 年 11 月 21 日工事完成、12 月供用開始（ターミナル部分は平成 24 年 7 月供用開始） ・横断歩道橋設置にかかる費用対効果の検証を行うため、バスターミナル及び駐車場の利用状況、国道 309 号歩行者交通量の調査及び文化会館利用者へのアンケート調査を実施し、堺市美原地域審議会に報告	
今後の計画		・費用対効果の検証結果から、横断歩道橋の設置については、今後の周辺状況を見定め、必要に応じて検討するという方向であるが、堺市美原地域審議会において引き続き議論を行う。	
事業効果		・区役所、文化会館からなる複合シビック施設の整備により、市民の文化活動への関心が高まり、イベントの開催も増加し、市民の交流拠点として文化会館等の利用者が増加した。 ・老朽化していた区役所の整備により、新庁舎における地域防災体制の充実が図られた。 ・バスターミナルを整備することにより、交通結節機能の強化や路線バスの利用促進を図ることができた。	
添付資料		有 ・ 無	

後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	教育委員会 施設課
事業名	美原西中学校屋内運動場改築事業	事業費	500,983 千円
事業目的	屋内運動場は文部科学省が定める必要面積を満たしておらず、また老朽化による機能低下の改善や耐震化を図るためにも改築等を行う。 また、改築の際には地域住民の活動に寄与するため、ミーティングルームを併設する。 プール施設が校内に無いため新設する。		
現在までの進捗状況 (事業内容)	平成21年度 体育館改築工事の設計完了 平成23年度 校舎耐震補強工事の設計完了 体育館改築工事の完了 体育館解体工事の完了 平成24年度 プール新築外工事の設計完了 平成25年度 プール新築外工事の完了		
今後の計画	事業完了済		
事業効果	屋内運動場の改築等を行うことにより、施設の老朽化による機能低下が改善され教育環境が向上した。 ミーティングルームなどの施設整備により、多様な活動が可能になった。 児童がより安全な環境で、体育などの校内活動等に励めるようになった。 耐震性能の向上により、災害時の地域住民の応急避難場所としての安全性が高まった。		
添付資料	有 ・ 無		

後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	スポーツ施設課
事業名	(仮称)美原南運動場整備事業	事業費	2,216 千円
		H26 予算	6,461 千円
事業目的		美原区におけるスポーツ・文化のより一層の振興を図ることにより、新市全体の均衡ある発展をめざすとともに、市民生活の向上を目的として、美原区域南部に運動施設を整備する。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		施設規模・機能、候補地についての検討	
今後の計画		平成26年度以降 施設規模・機能の決定、候補地選定 設計・整備予定	
事業効果		子どもから高齢の方までのさまざまな人々が利用できる運動場として、健康の維持・増進、体力づくり及びコミュニケーションを図れる環境を整備することができる。	
添付資料		有 ・ 無	

後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	都市整備推進課
事業名	(歴史ゾーン整備事業)交流拠点施設整備事業	事業費	2,751 千円
		H26 予算	31,908 千円
事業目的		広域幹線道路が結節する立地特性を活かして、黒姫山古墳を中心に歴史と暮らしが調和した活気に満ちあふれる交流拠点として整備する。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成22年度 歴史ゾーン整備に関するおおまかな方向性を示す「歴史ゾーン整備基本構想」を作成 平成24年度 歴史ゾーン整備基本計画策定 平成25年度 駐車場測量業務完了 平成26年度 駐車場詳細設計業務発注済	
今後の計画		測量業務の成果を基に平成26年度中に詳細設計業務、同年度中に駐車場整備工事を完了する	
事業効果		駐車場整備により黒姫山古墳周辺施設の利用促進の効果が見込まれる。	
添付資料		有 ・ 無	

後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	道路整備課
事業名	町道菩提1号線(石原14号線延伸部道路改良事業)	事業費	50,942千円
		H26 予算	107,050千円
事業目的		旧堺市域と旧美原町域の行政境界付近における連絡道路を整備するもの。	
現在までの進捗状況(事業内容)		H19 年度 公共明示(市道・里道・水路) H20 年度 道路予備設計 H21 年度 警察協議、土地所有者調整 H22 年度 用地買収(1件 1筆) H23 年度 用地買収(2件 2筆) H24 年度 用地買収(5件 10筆)、道路詳細設計 H25 年度 用地買収(0件) 事業用地管理工事	
今後の計画		H26 年度 用地買収進捗を図る(残6件 9筆)。 公社先行取得用地の再取得(3筆) H27 年度 1期工事 H28 年度 2期工事	
事業効果		堺市東区と美原区における連絡道路の整備や拡幅によって、より安全快適な交通網を確保することができる。	
添付資料		有 ・ 無	

石原 14 号



後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	公園緑地整備課
事業名	街区公園整備事業(平尾南)	事業費	409,885千円
		H26 予算	59,628千円
事業目的		市街地の防災特性や周辺の条件、地域住民のニーズなどを考慮し、身近な都市公園を整備する。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		多目的広場、修景施設(植栽)、休養施設、遊戯施設、管理施設の整備。 平成25年度 実施設計業務着手。	
今後の計画		平成26年度 工事着手予定。	
事業効果		本街区公園を整備することにより、地区内の均衡を図り、良好な都市環境の創造と地域交流拠点を形成する。	
添付資料		有 ・ 無	

後期中(平成26年度まで)の事業完了をめざすもの		担当課	消防局総務課
事業名	(仮称) 総合防災センター整備事業	事業費	9,837 千円
		H26 予算	471,700 千円
事業目的		南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念される中、自助・共助・公助の連携による地域の総合防災力向上と、災害時における消防防災活動の拠点施設として整備推進し、市全体の地域防災力の向上と災害に強いまちづくりを推進するもの。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成21年度 基本調査業務 平成22年度 用地選定 平成23年度 用地選定、基本構想策定支援業務 平成24年度 用地交渉 平成25年度 用地交渉、基本計画策定支援業務	
今後の計画		用地取得後、造成設計、造成工事、基本実施設計及び建築工事に着手し、早期の事業完了を目指す。	
事業効果		平常時においては、消火・救助などの専門的で高度な消防活動訓練を実施できる訓練施設を整備することにより、消防職員、消防団員の災害対応能力の向上を図るとともに、初期消火訓練などを実施できる施設を整備し、自主防災組織や地域の防災リーダーの方々の防災に関する知識・技術の向上を図るもの。 また、非常時においては、緊急消防援助隊などの活動拠点として活用するとともに、消防局庁舎が被災した場合における、消防局機能の補完・代替施設として機能することにより、災害対応活動をより適切かつ迅速に実施することが可能となるもの。	
添付資料		有 ・ 無	

全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの		担当課	道路計画課
事業名	西藤井寺線（バイパス）事業 【都市計画道路 向陵多治井線】	事業費	650,749 千円
		H26 予算	2,125 千円
事業目的		地域幹線道路として緊急車両の通行及び災害時の避難路として救急、救援活動を支援する機能を高めるとともに、黒姫山古墳、MC みはらなど文化施設へのアクセス向上を図る。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成 18 年 大阪府事務移譲 平成 18 年度～平成 21 年度 文化財発掘調査 平成 18 年度～平成 25 年度 用地買収 平成 21 年度～平成 25 年度 道路築造工事 平成 26 年 4 月 7 日 供用開始	
今後の計画		道路供用開始後、交通状況の変化に対応するため、交通管理者との協議により、交通安全施設等を設置する。	
事業効果		本事業は府道泉大津美原線（新）と国道 309 号を結ぶものであり、交通機能と合わせて、災害時の緊急車両の通行、避難路及び延焼遮断機能など防災性向上に重要な役割を果たすとともに、黒姫山古墳、みはら歴史博物館など文化施設へのアクセス向上が図られる。 また、本路線内に、雨水幹線整備が施工されており、下水道施設の収容空間として周辺地域の浸水被害の軽減を果たす。	
添付資料		有 ・ 無	

西藤井寺線(バイパス)事業【都市計画道路 向陵多治井線】

◆西藤井寺線(バイパス)の事業効果

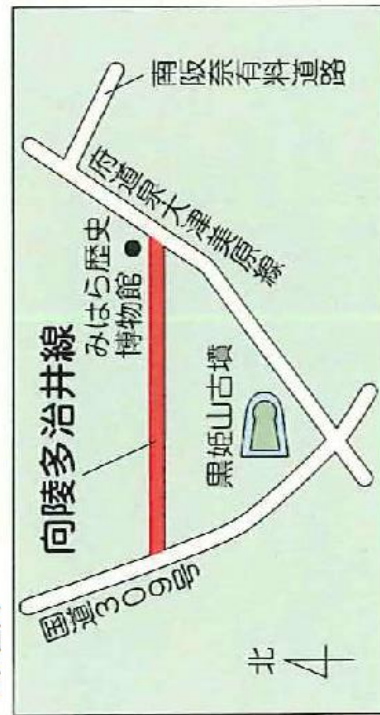
- ・道路延長:550メートル
- ・幅員:16メートル

本事業は府道泉大津美原線(新)と国道309号を結ぶものであり、交通機能と合わせて、災害時の緊急車両の通行、避難路及び延焼遮断機能など防災性向上に重要な役割を果たすとともに、黒姫山古墳、みはら歴史博物館など文化施設へのアクセス向上が図られる。
また、本路線内に、雨水幹線整備が施工されており、下水道施設の収容空間として周辺地域の浸水被害の軽減を果たす。

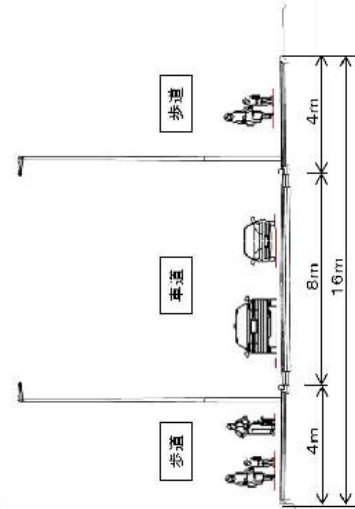


完成状況

●位置図



標準横断面図

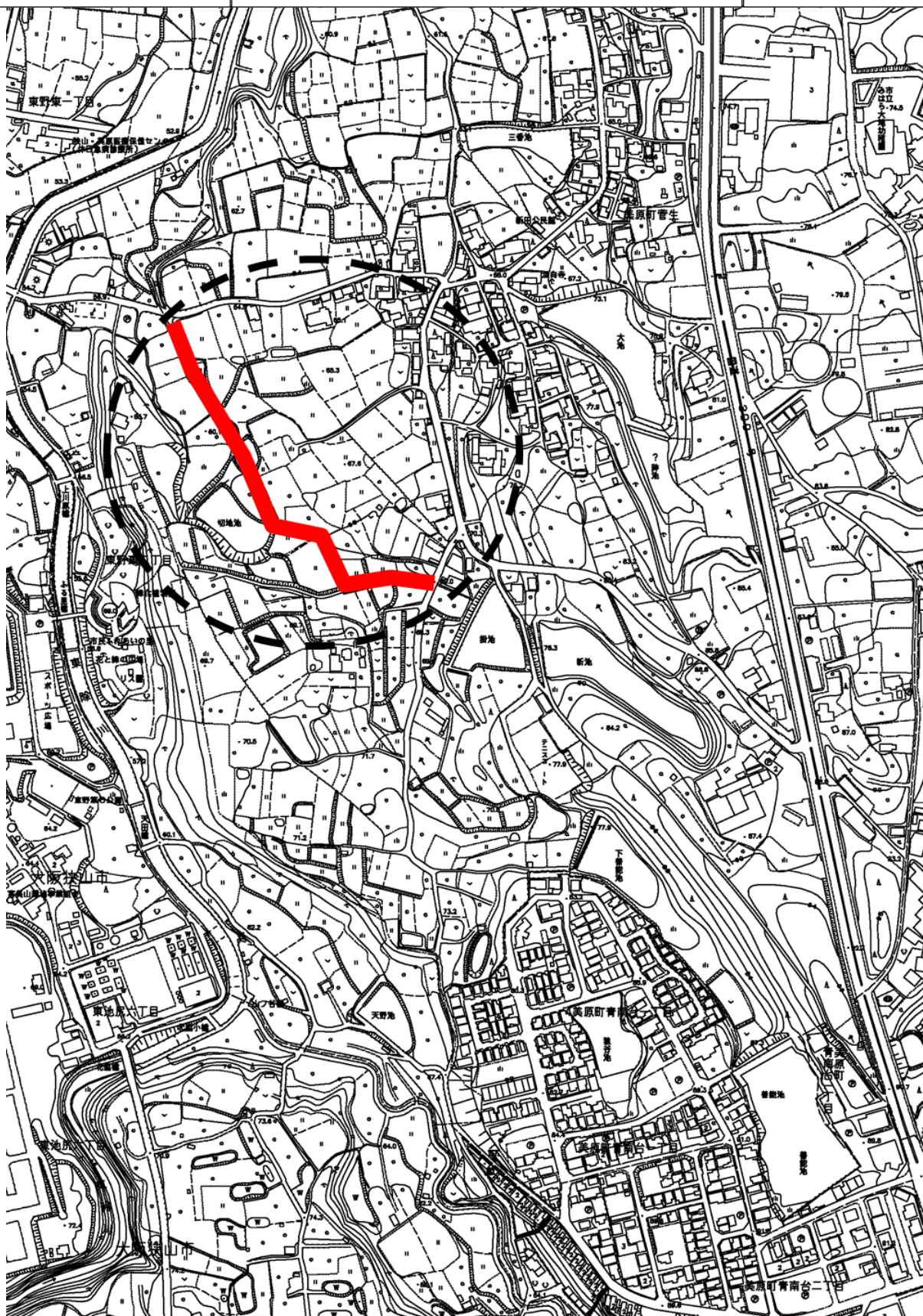


全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの		担当課	道路整備課
事業名	美原町地域生活道路・歩道整備事業	事業費	970,632 千円
		H26 予算	116,100 千円
事業目的		美原地域における生活道路を順次整備し、歩道設置等の交通安全対策を実施するもの。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		【大饗 1 号線路肩拡幅改良】(平成 17 年度完成) 【小平尾 3 号線拡幅整備】(平成 18 年度完成) 【丹上 27・28 号線道路築造】(平成 19 年度完成) 【菅生 40 号線道路築造】 (H23 年度 1 期工事、H24 年度 2 期工事、H25 年度 3 期工事) 【阿弥地内道路築造】(平成 24 年度完成) 【今井太井 2 号線道路築造】(平成 22 年度完成) 【菩提大饗 1 号線 (路肩整備)】(平成 22 年度完成) 【大饗 6 号線外 (拡幅整備)】(平成 23 年度完成) 【阿弥 19 号線 (道路改良)】(平成 20 年度完成) 【丹上真福寺線】拡幅整備 (平成 22 年度完成)	
今後の計画		今後、既に着手している事業を進めながら、新たな整備箇所については、地元要望などを精査し、必要な道路整備を地元自治会と協力し実施していく。 《平成 26 年度予定事業》(別紙箇所図) ・ 菅生 40 号線道路築造 →4 期工事予定(位置図①) ・ 太井地内道路築造 →境界確定測量等(位置図②) ・ 平尾 37 号線道路築造 →工事予定(位置図③) ・ 平尾地内道路改良 →境界確定測量等(位置図④)	
事業効果		道路築造、拡幅、路肩整備等の道路改良によって、安全で快適な交通施策の進捗を図ることができるもの。	
添付資料		有 ・ 無	

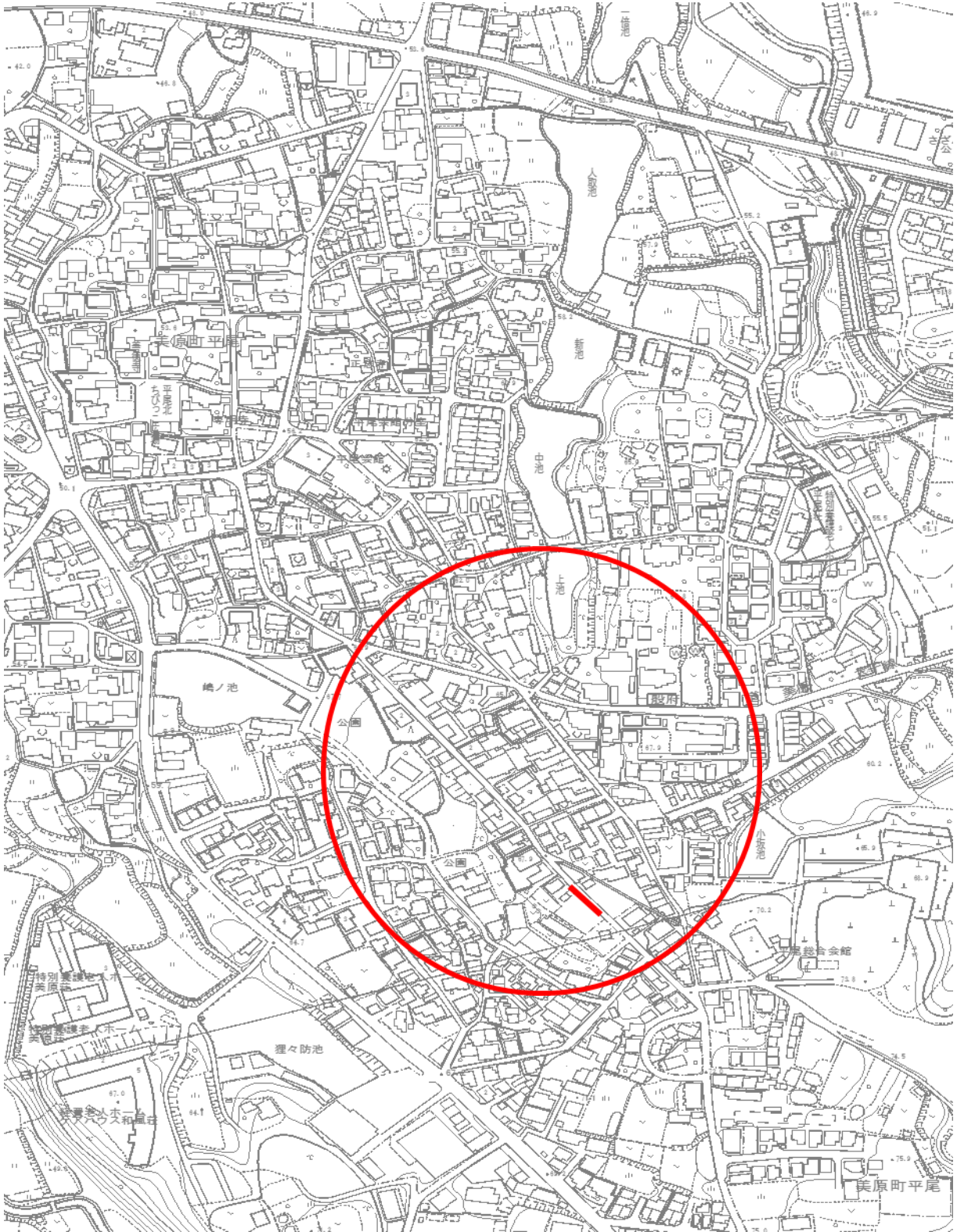
事業名

菅生 40 号線

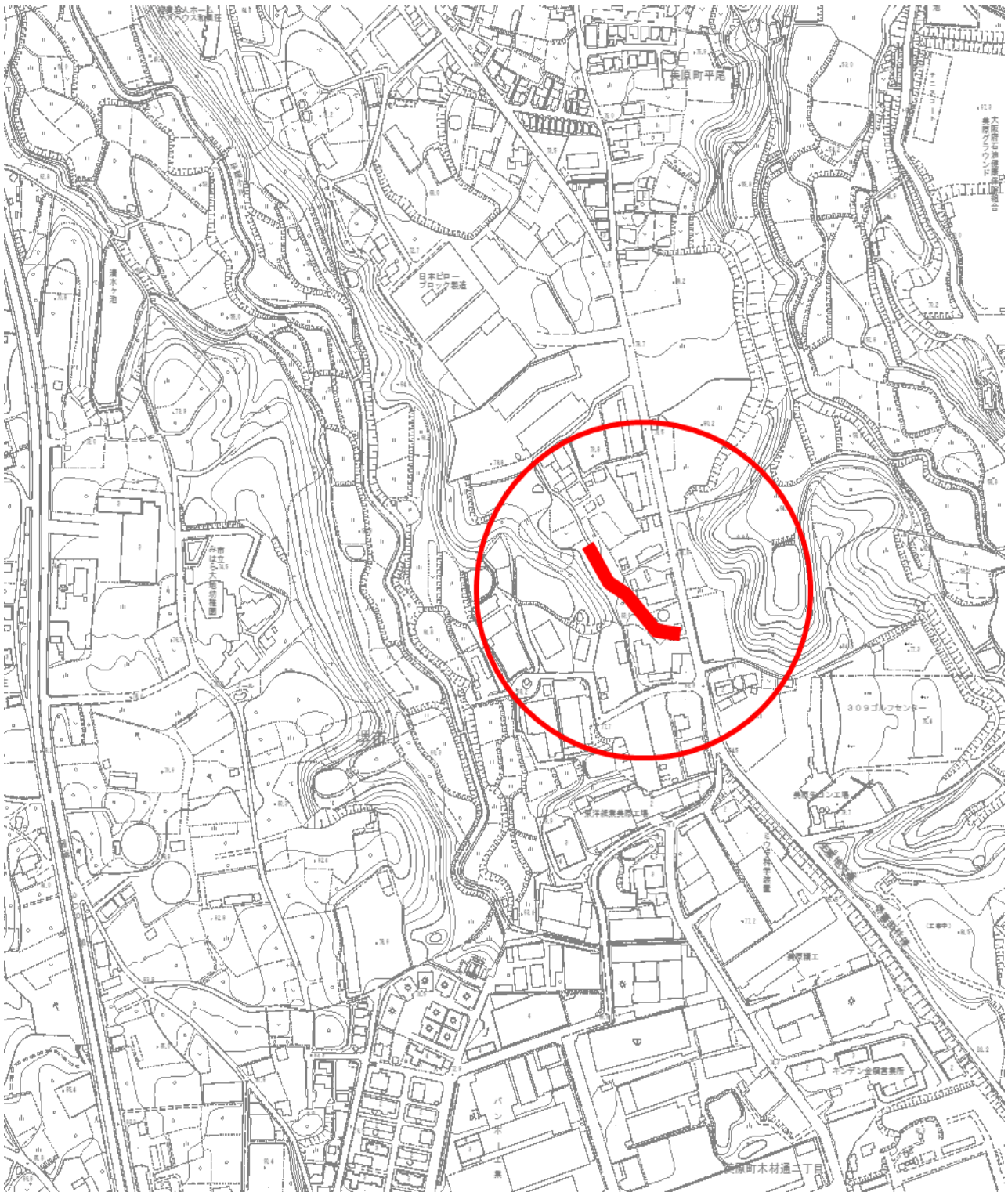
①



事業名	平尾 37 号線	③
-----	----------	---



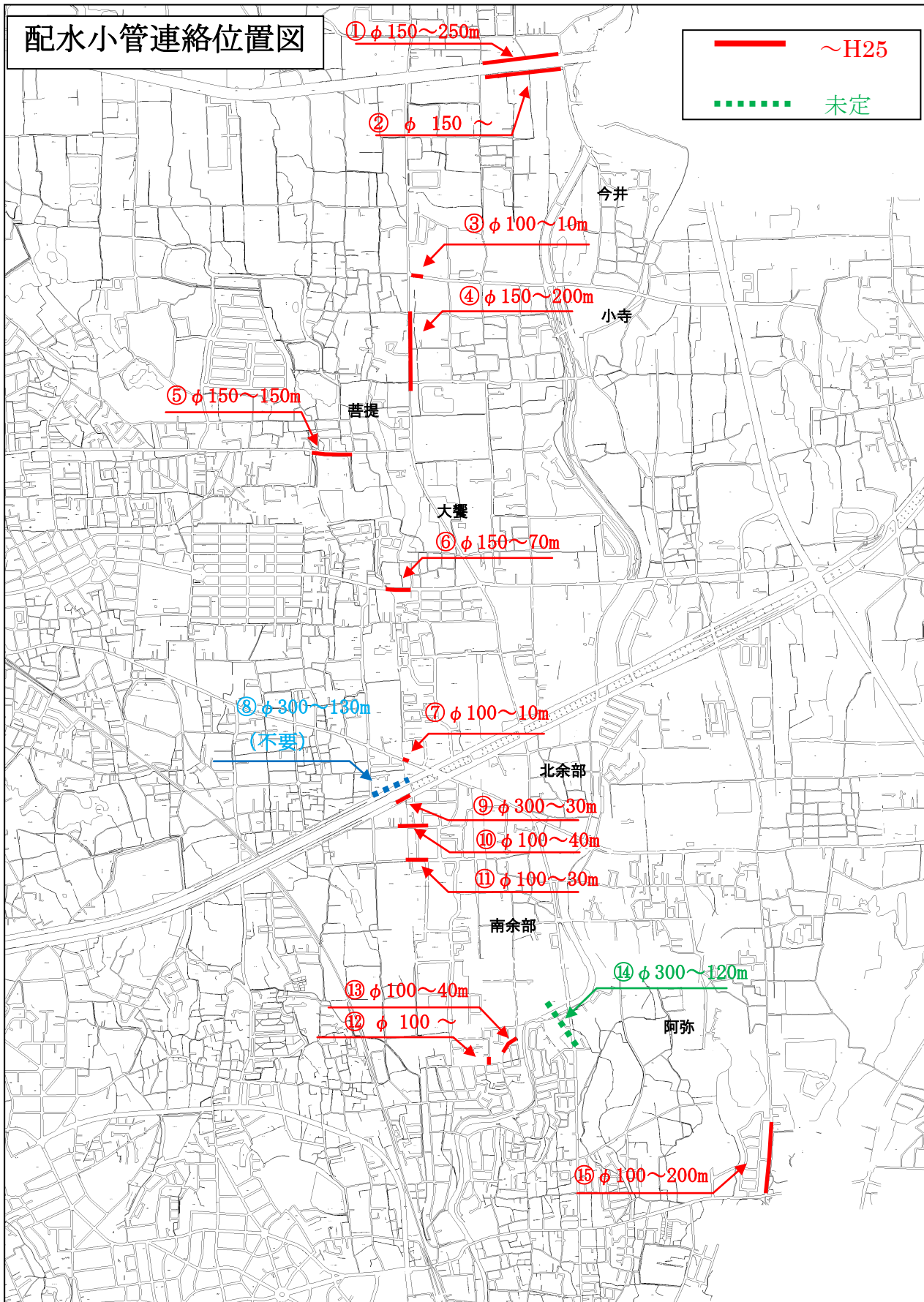
事業名	平尾地内	④
-----	------	---



全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの						担当課		上下水道局 下水道計画課																							
事業名		下水道整備事業				事業費		13,885,943 千円																							
						H26 予算		1,087,800 千円																							
事業目的			・ 汚水処理サービスの提供 ・ 浸水危険地区の解消																												
現在までの進捗状況 (事業内容)			【汚水整備】 ・ 下水道整備面積推移（累計値・単位は ha） <table><tr><td>H16 末</td><td>H17 末</td><td>H18 末</td><td>H19 末</td><td>H20 末</td><td>H21 末</td><td>H22 末</td><td>H23 末</td><td>H24 末</td><td>H25 末</td></tr><tr><td>359</td><td>379</td><td>446</td><td>681</td><td>681</td><td>681</td><td>681</td><td>721</td><td>746</td><td>853</td></tr></table>									H16 末	H17 末	H18 末	H19 末	H20 末	H21 末	H22 末	H23 末	H24 末	H25 末	359	379	446	681	681	681	681	721	746	853
			H16 末	H17 末	H18 末	H19 末	H20 末	H21 末	H22 末	H23 末	H24 末	H25 末																			
			359	379	446	681	681	681	681	721	746	853																			
			【雨水整備】 ・ 西除川右岸 1 号雨水幹線 ・ 丹上雨水線 ・ 菅池幹線 ・ 小寺今井雨水線 ・ 石原小寺雨水幹線																												
今後の計画			・ 里道、私道等への汚水整備事業を引き続き進める。 ・ 浸水危険地区への雨水整備事業を引き続き進める。																												
事業効果			・ 下水道普及率の推移（累計値・単位は％） <table><tr><td>H16 末</td><td>H17 末</td><td>H18 末</td><td>H19 末</td><td>H20 末</td><td>H21 末</td><td>H22 末</td><td>H23 末</td><td>H24 末</td><td>H25 末</td></tr><tr><td>62.3</td><td>63.7</td><td>70.0</td><td>70.0</td><td>76.5</td><td>81.1</td><td>86.0</td><td>89.6</td><td>90.0</td><td>90.1</td></tr></table>									H16 末	H17 末	H18 末	H19 末	H20 末	H21 末	H22 末	H23 末	H24 末	H25 末	62.3	63.7	70.0	70.0	76.5	81.1	86.0	89.6	90.0	90.1
			H16 末	H17 末	H18 末	H19 末	H20 末	H21 末	H22 末	H23 末	H24 末	H25 末																			
			62.3	63.7	70.0	70.0	76.5	81.1	86.0	89.6	90.0	90.1																			
			・ 浸水危険地区に対して、治水安全度が向上した。																												
添付資料			有 ・ 無																												

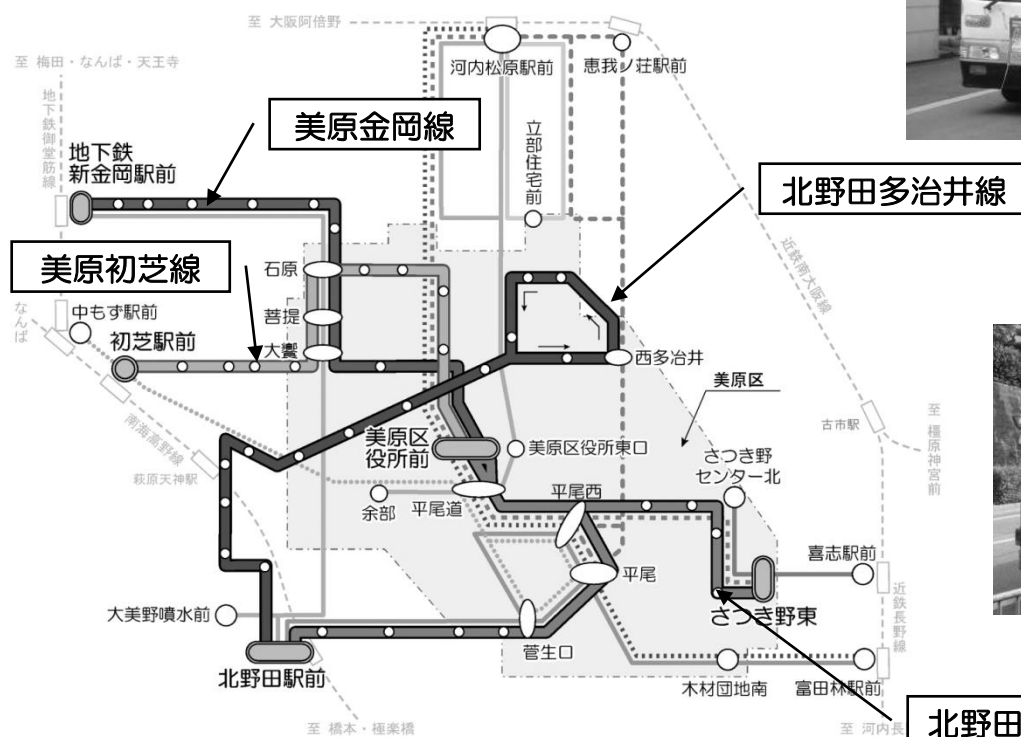
全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの		担当課	上下水道局 配水計画課
事業名	老朽水道管更新事業	事業費	265,012 千円
		H26 予算	7,900 千円
事業目的		美原区内における老朽水道管を更新することで、漏水事故の未然防止を図る。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		美原区内の老朽水道管 10.1km (※当初 10.2km) を対象に、順次更新している。 ・平成 17～24 年度 8,810m ・平成 25 年度 1,010m 【更新済み延長計】 9,820m ※管路情報を精査し、総延長を 10.1km に変更した。	
今後の計画		今後の予定 ・平成 26 年度 165m ・平成 27 年度以降 90m 【更新予定延長計】 255m	
事業効果		老朽水道管を耐震管で更新することで地震に強い水道施設を構築することができる。	
添付資料		有 ・ 無	

全期間を通じ、年次的に継続して事業実施していくもの		担当課	上下水道局 配水計画課
事業名	堺美原間配水小管連絡事業	事業費	58,571 千円
		H26 予算	0 円
事業目的		美原区域と旧堺市域の境界付近に位置する配水管を連絡（接続）し、効率的な水運用や事故発生時の応援給水確保を目的としている。	
現在までの進捗状況 （事業内容）		連絡する対象配水管は、14 か所、布設延長 1,460m（※当初 15 か所、布設延長 1,590m）あり、順次事業を進めています。 ・平成 17～25 年度 13 か所、布設延長 1,340m の連絡事業を完了 【配水小管連絡位置図】 ①(250m)、②(250m)、③(10m)、④(200m)、⑤(150m)、⑥(90m)、 ⑦(10m)、⑨(30m)、⑩(40m)、⑪(30m)、⑫(40m)、⑬(40m)、⑮(200m) ※周辺の配水管網と水運用を再検討し、⑧(130m)は不要とした。	
今後の計画		今後の予定 ・平成 26 年度は工事なし。 ⑭(120m)については、都市計画道路「大阪河内長野線バイパス」の築造に合わせて施工する。	
事業効果		給水区域の異なる地域どうしを配水小管で連絡し配水管網を強化することで、事故発生時に応援給水が可能となる。	
添付資料		有 ・ 無	



その他事業					担当課	公共交通課																			
事業名	美原町地域 路線バスルートの新設・拡充事業				事業費	1,560,891 千円																			
					H26 予算	127,736 千円																			
事業目的		合併後の市の一体化形成や市域内及び、近隣都市との交流を促進するため、道路や公共交通網の充実とともに、まちのにぎわいに対応したまちづくりの実現が目的である。																							
現在までの進捗状況 (事業内容)		美原区域路線バス運行開始																							
		○美原初芝線 平成 17 年 2 月 1 日 運行																							
		○美原金岡線 平成 17 年 2 月 1 日 運行																							
		○北野田さつき野線 平成 17 年 5 月 30 日 運行																							
		○北野田多治井線 平成 18 年 9 月 25 日 運行																							
		■年間利用実績（乗客数 単位は万人）																							
		<table><tr><td>H18</td><td>H19</td><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>38.1</td><td>41.9</td><td>43.3</td><td>42.2</td><td>46.7</td><td>49.4</td><td>51.6</td><td>53.1</td></tr></table>								H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	38.1	41.9	43.3	42.2	46.7	49.4	51.6	53.1
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																
38.1	41.9	43.3	42.2	46.7	49.4	51.6	53.1																		
今後の計画		美原区域路線バスは、地域住民の貴重な公共交通機関として根付いてきているが、なお一層の乗降客数増加に向けて、市民と協働により利用促進の啓発や取組みを実施していく。																							
事業効果		合併後の一体化形成や市域内及び、近隣都市との交流を促進するため、美原区域路線バスを新設し市内鉄道駅への移動手段を確保した。また、地域住民と共にバス利用促進に取り組むなか、利用者数も増加傾向となり、日常生活をささえる貴重な交通手段となるとともに、地域の活性化や旧市域との交流促進に寄与している。																							
添付資料		有 ・ 無																							

美原区域路線バスの概要



美原区域路線バス・・・H17 年の堺市と美原町の合併に伴い、美原区域から堺市内の鉄道駅へアクセスするために新設された 4 つの路線

路線名	区 間	区間延長	所要時間	運 賃 (円)	運行便数 (便/日)	運行間隔	運行事業者
美原金岡線	地下鉄新金岡駅前 ～美原区役所前	約 13.6km	約 23 分	170 ～350 円	平日 36 休日 33	約 20 分～ 30 分間隔	南海バス
美原初芝線	初芝駅前 ～美原区役所前	約 10.8km	約 23 分	170 ～250 円	平日 36 休日 32	約 20 分～ 30 分間隔	南海バス
北野田さつき野線	北野田駅前 ～さつき野東	約 11.6km	約 21 分	160 ～290 円	平日 38 休日 25	約 20 分～ 30 分間隔	近鉄バス
北野田多治井線	北野田駅前 ～西多治井【循環】	約 13.7km	約 26 分	170 ～300 円	平日 34 休日 34	約 30 分間隔	南海バスと 近鉄バスの共同運行

その他事業		担当課	交通政策課
事業名	総合的な公共交通体系の検討 (鉄軌道整備調査研究)	事業費	8,660 千円
		H26 予算	0 円
事業目的		堺市マスタープランや都市計画マスタープランなど、関連するまちづくりの方向性等との整合を図りながら、広域的な公共交通網から市民の生活圏の交通に至る総合的な公共交通体系の形成を図る。	
現在までの進捗状況 (事業内容)		平成 20、21 年度は、LRT を基軸とした市内全域の路面交通ネットワークのあり方について調査・研究を行った。 平成 22、23 年度には、東西交通軸などを含めた「公共交通ネットワークの形成」、バスなどの地域における公共交通の維持確保など「地域内公共交通の充実」、「公共交通の利便性向上」、「公共交通の利用促進」など、本市全体の公共交通のあり方を示す総合都市交通計画の検討を行い、方向性をとりまとめた。 平成 24 年度からは、平成 23 年度にとりまとめた方向性に基づき、東西交通軸を含む都心交通のあり方や地域内公共交通など個別施策の具体化について検討を行っている。	
今後の計画		公共交通網の充実など利便性の高い公共交通体系の形成に向け、地域住民と共に公共交通の利用促進に向けた啓発や取組みを進めていく。	
事業効果		美原新拠点と新金岡駅等を結ぶ路線バスルートの新設・拡充をはじめ、おでかけ応援バスの拡充、バス停から離れた地域と鉄道駅を結ぶ乗合タクシーの運行などにより、公共交通ネットワークの形成や多様な世代の日常生活を支える身近な公共交通の維持・確保が図れている。	
添付資料		有 ・ 無	